

第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和7年度第3回志布志警察署協議会
会 議 日 時	令和8年2月19日（木）午後1時30分～午後3時30分
会 議 場 所	志布志警察署会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下 6人 2 警察署 署長以下 8人
<p>（会議の概要）</p> <p>【視察活動】 鹿兒島県警ヘリコプター「はやと」の業務視察</p> <p>【業務説明など】 1 当署管内の治安情勢について 2 当署の活動・取組の紹介について</p> <p>【前回協議会における委員意見に対する調査結果説明】 （前回協議会の委員意見） 志布志小学校側から志布志中学校に向かう道路の一方通行規制（7:30～8:30）の時間の緩和をしてもらいたい。 【調査結果説明】 昨年12月、志布志小学校スクールゾーン委員会で意見聴取を実施した結果、「規制緩和により、児童の危険性が増す可能性があることから、現状のままでよいこと」、「児童の保護者にも、学校側からその旨説明して理解を得ていること」との意見があった。現地調査結果においても「対象の交差点を右左折する際は、やや鋭角となっており、道路幅も広くないことから、仮に規制がない場合でも、右折車両と左折車両との相互通行がやや困難であること」、「交通量が変化することにより、通学中の児童生徒が交通事故に遭遇するおそれが高まること」から、現時点では現状のままの規制とし、今後も状況を見据えながら対処していく。</p> <p>【当署の業務運営の諮問と答申】 1 マイナ免許証の利用推進について 【諮問】 昨年3月24日から運用開始されたマイナ免許証の利用推進について、事前に意見を伺った委員から「マイナ免許証の手続方法や利便性などについての周知状況は如何か」との意見を受け、手続を行う免許受付機付近に設置していた写真付きの操作要領について、利用者のさらなる利便性を図るため、利用者の目線の高さにも再設置するなどの改善を図ったところ、さらにスムーズな対応を図れている。 また、マイナ免許証の利便性については、保有者の生活環境などによって、マイナ免許証のみや従来の免許証との2枚持ちなどを選択できたり、講習がオンラインで受講できるなどあるが、利用者数や周知状況は決して高くない状況にあることから、効果的な利用推進方法などについて、委員からの意見を伺いたい。 【答申】 ○ レンタカー店では、まだマイナ免許証の対応ができていないという話も聞くので、利用が進まない要因となっているのではないかと。 ○ 免許受付機の操作要領などの手続方法は大変工夫されているが、機械操作が苦手な高齢者などについては、警察官の声掛けが大事だと思うことから、マイナ免許証の利用と併せて声掛けをしていってはどうかと。 2 飲酒運転防止対策 【諮問】 当署管内の飲酒運転の現状については、午後4時頃から午後7時頃の発生が多く、発生時間帯での交通指導取締り、繁華街を中心とした飲酒検問、コンビニ担当警察官による広報啓発活動などの取組を強化しているが、効果的な交通指導取締り、広報啓発活動などについて、委員からの意見を伺いたい。 【答申】 ○ コンビニ担当警察官は、警察官の姿を目にすることや身近に感じることができるところから、とても良い施策である。</p>	

- コンビニ担当警察官で実施した店舗内の酒類販売箇所への飲酒運転防止チラシの掲示のほか、「見られている」などといったインパクトのある文字を記載した旗のようなものの掲示も効果があるのではないかと。
- コンビニで酒類を購入し、駐車場に駐車中の車内で飲酒後、車両を運転している者がいるということから、発生時間帯に合わせて、警察官のコンビニへの巡回を増やすことも効果的ではないかと。
- 飲酒運転をすると「悲惨である」とのストーリー性のあるチラシの掲示や「飲酒運転防止の動画」を制作してSNSで配信することも効果的であると思う。

3 総合的な外国人対策（前回協議会からの継続諮問）

【諮問】

当署管内に居住する外国人の現状について、まず人口は、昨年12月末現在で、志布志市924人、大崎町623人を把握している。

大崎町は、人口に占める居住外国人の割合が県下でナンバーワンであり、全国でもトップクラスとなっている。

管内の居住外国人の増加率は、年々右肩上がりであり、令和3年を基準として昨年12月末現在で106%も増加している。

昨年中の当署管内の外国人の交通事故件数は15件である。

また、昨年12月末現在の当署管内の居住外国人の運転免許証の取得者は45人で、県内の居住外国人の運転免許証の取得者は5,084人となっている。

当署は「企業に勤める外国人への交通安全講話」、「自転車乗り外国人に対する指導取組み」、「税関、海保との水際対策」、「志布志市、大崎町に対する外国人対策の働きかけ」について継続的に取り組んでいる。

また、前回の協議会の諮問において「外国人の自転車利用のマナーが悪い」という点において委員から答申のあった「外国人がよく利用する郵便局のATMに“外国人向けの自転車安全利用チラシ”を掲示してはどうか」との意見を受け、委員の協力ももらいながら「鹿児島県東部地区の郵便局約120局」に当該チラシを掲示した。

居住外国人は着実に増加し、運転免許証の取得者も増加傾向で、交通事故の増加が予想されるほか、言語、文化の違いから様々なトラブル等の事案の発生が予想される。

そこで「外国人の方に、いかに日本の交通法規などを理解、実行してもらうか」「自治体などへの要請」など、今後の対策案について、委員からの意見を伺いたい。

【答申】

- 飲酒運転防止の観点から、コンビニに各言語で記載された飲酒運転防止のチラシや「見られている」などといったインパクトのある文字を記載した旗のようなものの掲示をしてみようか。
- 不法投棄防止の観点から、各言語で記載された「不法投棄防止」の看板を設置してみようか。
- 地区のコミュニティ協議会において、個人企業が雇用している外国人技能実習生を集め、ゴミ出しなどの研修会を継続的に行っている。同研修会では、駐在所の警察官にも参加してもらい自転車利用のルールなどの講習をしてもらっていることから、今後も継続して実施していきたい。
- 教会の外国人利用が多いことから、教会内に自転車安全利用チラシなどを掲示してみようか。
- 外国人は警察官の制服に警戒心があるようである。緊張感を与えるのも大事だと思うが、警戒心が解けるように制服を着た警察官のフレンドリーな声かけなども外国人対策につながるのではないかと。

【委員のその他意見】

- 昨年10月、志布志警察署が約20年ぶりに「志布志警察署ふれあいフェスタ」を開催したが、多くの住民が喜んでくれた。
- 駐在所の連絡協議会において、駐在所員の方の人柄もあってか、協議会が賑わっており活発的であると感じた。
- 国政選挙での候補者の街頭演説について、多くの聴衆がいたが、志布志警察署の署員が警戒している姿を見て安心した。
- 知人がストーカー被害に遭い志布志警察署に相談していたが、署員の方が警戒などの対応をしてくれたことにとっても感謝していた。

備 考